

知っていますか？

正解は「○」って世界共通!?

日本では、テストの採点などの採点記号に、正解は「○」、不正解は「×」か「✓」を使うことが一般的です。これらの使い方は、外国でも同じでしょうか。

イギリスに駐在していた方の話です。お子さんが持ち帰ってきた解答用紙に「✓」がたくさんついていて、驚いたそうです。イギリスでは、不正解に「×」、正解には「✓」をつけるとのこと。採点記号の違いをはじめて知った、と話していました。

そこで、日本語教室の外国人学習者に、それぞれの国での採点記号のことを聞いてみました。アメリカ、イギリス、インド、インドネシア、ウクライナ、中国、ベトナム、ミャンマー…なんと全員が、正解の時は「✓」、不正解の時は「×」とのことでした。

ちなみに、ゲーム機のコントローラーも、海外仕様のもは×ボタンが決定、○ボタンがキャンセルと設定されているようです。

日本人にとって「あたりまえ」のことが、外国でも「あたりまえ」だと思っはいけないことに、あらためて気づかされました。



information

異文化理解 講演会

これから開催

講演会「世界の異なる文化を理解しよう～多文化で彩り豊かな地域社会づくり」の開催が、

2025年1月25日(土)13:30-15:30に決定!

元国連ハビタット親善大使マリ・クリスチャーヌさんの講演会を緑公会堂で行います!

お友だちを誘って来てくださいね!

ラウンジから

現在 通訳ボランティアを募集しています!

発行：みどり国際交流 ラウンジ
横浜市緑区中山1丁目6-15 パームビュービル 5階

TEL : 045-532-3548 FAX : 045-532-3549

Mail : info@midori-lounge.com

開館時間 : 9:30~18:00 (水曜日 9:30~21:00)

休館日 : 毎週日曜日、年末年始(12月29日~1月3日)



外国が。

2024年
11月発行

vol. 12

みどり国際交流ラウンジ news

リレートーク

色々な国の人々が緑区で暮らしに馴染めるようなイベントや講座をお知らせします!

料理を通じてタイと日本の架け橋に



タイで出会った日本人男性と2年間の遠距離恋愛の末に結ばれた泉ノンヤウさん。来日から結婚30周年を迎える現在までの涙あり笑いありのお話を伺いました。

タイの日本企業に勤めていたノンヤウさんは、日本から出張してきたご主人と出会います。「結婚はしましたが、日本大使館からビザがなかなかおりなくて、ずっと手紙でやり取りをしていました」。

2年後ようやくビザがおり、ついに来日。「日本のことを何も勉強していなかったの、言葉も何もかも分かりませんでした。一人では買い物にも行けなくて、最初の1週間はひたすら部屋を掃除して時間をつぶしていたんですよ(笑)」。今ではひらがなもカタカナも漢字も読み書きできるノンヤウさんですが、来日当初はたいへん苦労したようです。

二人のお子さんに恵まれ、ママ友たちの協力もあって、日本の生活に溶け込むことができたとか。「友だちのおかげで日本の習慣や日本語が少しずつ分かるようになりました。とても感謝しています」。今では得意なタイ料理を地域の人たちに振るまったり、日本に暮らす外国人が困ることを

題材としたスピーチをしたり、「交流大使」の大役を務めたりすることも。ノンヤウさんには、私たち日本人にリクエストがあるそう。「みなさんの笑顔をもっと見たいです。眉間にシワは、いりません! どんときも笑顔でいるだけで、自分自身も周りの人も明るくなります」。私たちも、いつでも笑顔を忘れないように心がけたいものです。

※ 来年2月に、ノンヤウさんの料理講座を開催予定。



みどりくこくさい 緑区国際フォーラムでのスピーチ



日本語教室@緑区におじゃましてす！

土曜開催の教室は会社勤めの学習者に大人気！

あすなろ日本語クラブ

みどリーむ&ラウンジ 6F(土)

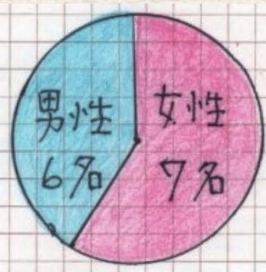
土曜日の開催なので、ボランティアも学習者もそれぞれライフスタイルを尊重できるのが特徴です。双方が続けやすい環境づくりを大切にしています。年に2回、イベントデーを開催しています。今年伊藤園さんの協力で日本茶について学び、急須でお茶をいれる体験会を行いました。



代表 田中淳子さん

ボランティアは 50~70 代が活動中

土曜日の開催なので、休日を利用して参加する方も。男女の比率はほぼ半々。



インターナショナルスクールで教師をしています。ボランティアのみなさんがフレンドリーで楽しく勉強できます。



スポア ブロックさん(アメリカ)



リ タクさん(中国)

2023年の10月、中国にある本社から転勤で来日しました。日本語が分かるようになったら、イベントやコンサートに参加したいです。

副代表 佐藤洋一さん

学習者の国と地域は全部で 13

アメリカ	3
イギリス	1
イタリア	1
インド	4
インドネシア	1
スリランカ	2
タイ	2
中国	7
バングラデシュ	1
フィリピン	1
ベトナム	4
ウクライナ	1
ブラジル	1

学習者の全員が来日目的はビジネス。社内でのコミュニケーションや日常生活で使える言葉を学んでいます。

Opinion

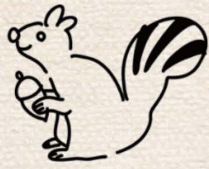


子ども支援だけでは足りない!? 保護者サポートこそ必要です!

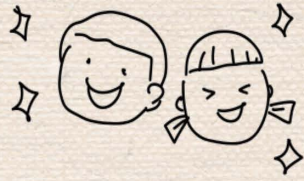
みどり国際交流ラウンジでは、外国につながる子どもたちをさまざまな形でサポートしています。初めて日本の小学校に通う子どもたちに、簡単な日本語や習慣を教えるプログラムもそのひとつです。このプログラムに協力いただいている、中村淳子教諭(横浜市立小学校国際教室担当)に、お話をうかがいました。

日本の教育制度を知らない外国人保護者は、「子どもは、学校に任せておけば大丈夫だ」と思っています。ところが、日本の学校では、家庭での教育サポートは当たり前。日本語に慣れない保護者が、宿題や提出物の管理をしなくてはならないのです。もちろん、日本語がわからずに授業についていけない子どもたちの学習支援は、とても大切です。子ども支援と同時に、保護者に求められることを一緒に考え、サポートすることも必要です。子どもや保護者の「困った」が「楽しい」に切り替わるカギは、ラウンジと学校の連携にあると思います。ラウンジが、子どもと保護者の何でも相談できる居場所になると心強いですね。

7月に、語学ボランティアさんと国際教室を担当する教諭たちの交流会に参加しました。それぞれが抱えている課題や問題を、お互いに知る良い機会でした。今後も、さまざまな形で情報を共有できる場を作っていきたいですね。



Report



「センセイとのしゃべり場」

開催日: 7月17日(水)17:30~20:00



国際教室の先生と語学ボランティアさんが、外国につながる子どもの学習支援について本音で語り合う「センセイとのしゃべり場」を開催しました。終了予定時間を1時間オーバーするほどおしゃべりは白熱し、課題を残したまま、会はお開きになりました。学校が語学ボランティアさんに望んでいることは、「完璧な通訳」ではなく「子どもの良さ理解者」になってもらうこと。反対に、ボランティアさんが先生に望んでいることは、「支援のポイントの共有」などでした。子どもの学習理解がどこまで進んでいるかを把握することは、先生とボランティアさん双方にとって大切なことであるにもかかわらず、その時間がなかなか取れないという現状が見えてきました。後日、ラウンジから教育委員会に、これら現場の声を伝えました。皆さんの本音トークのお陰で見えてきた課題を少しでも広く共有できるよう、今後もこのような場を設けていきます。

※ 国際教室とは、日本語指導が必要な児童・生徒が5人以上在籍する学校に設置。国際教室担当教員が、日本語指導、教科指導、生活適応指導等を行う。

「あるよ自販機あちこちに」「ないないごみ箱どこにもない」



多くの外国人は、日本のいたるところに自販機が置かれていることにビックリするとか。自販機の数が多いこと、種類が多いこと、そして温かい飲み物と冷たい飲み物を選ぶこと。それだけではありません!! なんと、屋外に設置されていることにもびっくりするそうです。外国では、治安上、施設内に置かれていることが多く、日本のように公園や道路に設置するケースはあまりないです。



それから「公共の場所にごみ箱がない」というのも、外国人が感じる「不思議日本」のひとつのようです。テロ対策などの防犯目的で、駅や公園、公共施設からごみ箱が撤去されてきました。日本に住んでいる人は「ごみを持ち帰る」習慣がつかいましたが、外国からの観光客にとっては不便なことのひとつだそうです。

多文化共生かるたはラウンジ HP からダウンロードできます